

1
海岸工学幹事会
090410, 土木学会
議事録：村上啓介

- 前回議事録の確認
 - 報告事項（委員会評価・予算額他）
 - 第56回海岸工学講演会（海岸工学論文集第56巻）応募論文審査について（青木、佐藤）
 - 査読者候補の確認
 - 第56回海岸工学講演会の準備状況について（横木）
 - 第57回及び第58回海岸工学講演会の開催（会場など）について（後藤）
 - ・ 京都、次は？
 - Coastal Engineering Journal について
 - ・ 査読状況, CEJ Award, 購読者拡大策（柴山）
 - 研究小委員会等の活動について（沿岸域、津波、数値波動、温暖化適応策、広報各小委員長）
 - ・ 重点研究課題探択（津波小委：今村）
 - 第45回水工学に関する夏期研修会（Bコース）開催について（藤原）
 - その他
 - ・ 委員、幹事の交替
 - ・ 会長特別委「地球温暖化特別委」報告
 - ・ Apac 2009 (Singapore), Coastal Dynamics 2009 (Toranomon), [Breakwaters \(2009 Sep 16-18, Edinburgh\)](#), Coastal Structures 2011
- ・ 2009 委員会・幹事会 6/19 14:00-, 9/24 14:00-, 11/18 18:00-

2
海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告①

- 登録論文数 :381編
- アクセス障害数 :1件(締切後のシステムアクセス?)
- メール投稿数 :0件

- 査読者割り当て
幹事会, 論文集編集小委員会, その他の各グループから第2専門分野まで配慮. 約18編/人

- 査読受諾意思確認
(幹事26名, 海岸委13名, 編集委23名, その他42名, 計105名)

海岸工学論文集第55巻査読者リスト		委員	編山田得三		3
幹事		水谷夏樹	古川憲太	八木宏	
佐藤慎司	高木利光	坂井伸一	山本泰司	加藤史訓	西田修三
青木伸一	中山哲蔵	村上啓介	宇都宮好博	前野詩朗	上月康則
磯部雅彦	澁岡和夫	小林智尚	池谷毅	松見吉晴	辻本剛三
	橋本典明		五明美智男	島田広昭	中村孝幸
岡安章夫	諏訪義雄		半沢稔	中野晋	柴木秀之
木村克俊	藤原広和		黒木敬司	出口一郎	原文宏
栗山善昭	間瀬肇		大山巧	浅野敏之	中村由行
後藤仁志	横木裕宗		丹治肇	池野正明	河合弘泰
榊山勉	武若聡		田島芳満	伊福誠	足立久美子
重松孝昌	水谷法美		陸田秀実	角野昇八	高山知司
柴山知也	森信人	編小委	山田文彦	勝井秀博	喜岡渉
	富田孝史	荒木進歩	伊藤一教	下迫健一郎	泉宮尊司
	田中昌宏	藤岡功司	渡部靖憲	滝川清	水口優
	日比野忠史	越村俊一	佐々木洋	田中仁	河田恵昭
	由比政年	信岡尚道	中川康之	永井紀彦	谷本勝利
	川崎浩司	畑田佳男	黒岩正光	仲座栄三	酒井哲郎
		平山克也	北野利一	後野正雄	
		原田英治	斎藤武久	平石哲也	
		髙瀬幸生	関本恒浩	高橋智幸	
			長谷部雅伸	松富英夫	
			松山昌史	松原雄平	
			野口賢二	真野明	
			加藤茂	三村信男	
				山下隆男	
				吉田明德	

海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告②		4
審査手順		
➤	査読者5名	
➤	1人6点	
➤	昨年と同様, 専門性をなるべく考慮して, 査読者を割り当て	
➤	各査読者の平均点が3.5点程度となるように調整依頼	
➤	スケジュール	
3月 2日	第1段審査の仮依頼	
3月21日	第1段審査の正式依頼	
4月 3日	査読者による採点入力完了	
4月4~7日	第1段審査採択(案)協議	

海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告③

審査結果

- 評価点17点以上の論文 285編 ※1点の評価なし
(昨年: 評価点18点以上の論文 284編)
- 評価点16点の論文 39編
(昨年: 評価点17点の論文 40編)
- 昨年と同様な方針で16点(昨年:17点)の論文から何編かを選択
【昨年の方針】
2点がついたものは除外する。平均的によいと評価された論文(33344)を採択。論文(33335)は不採択。なお、今年に適用すると、(33334)が採択。
- 評価点16点の論文39編のうち、
 - ・2点を含む論文が27編
 - ・評価33334の論文が12編

海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告④

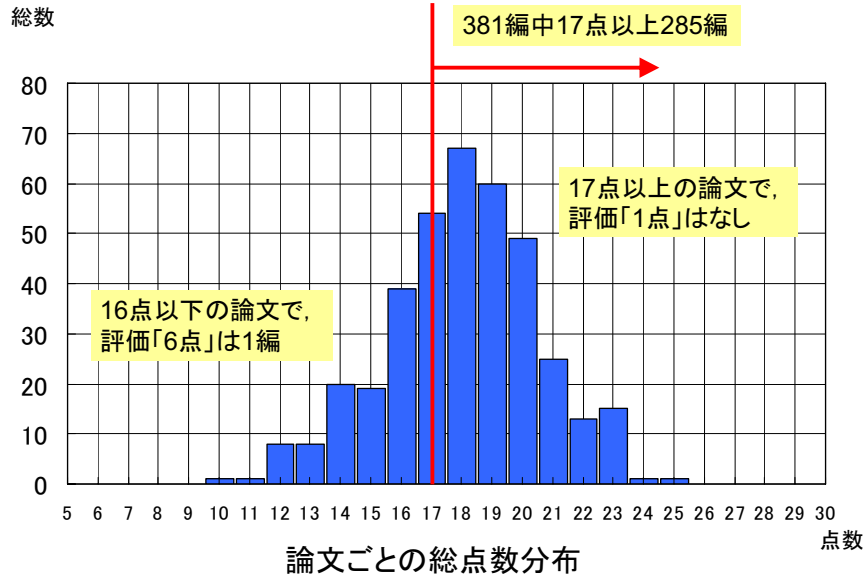
最終審査結果

第1段審査通過論文数: 300編

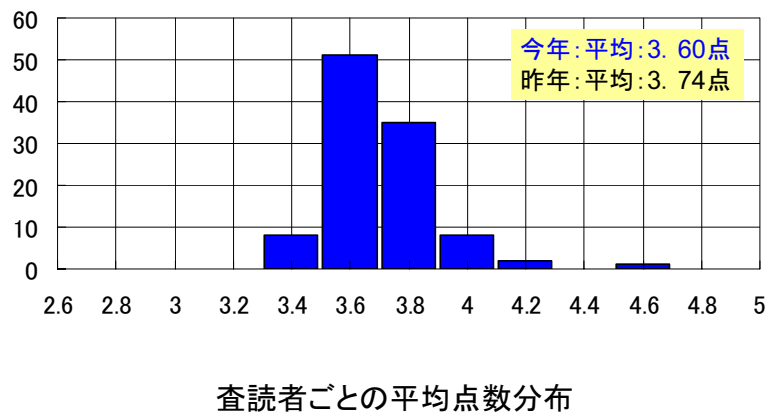
内訳:

- ・17点以上の論文 285編
- ・16点の論文 12編(=39編-27編)
- ・16点の論文のうち、
 - 「1点」の理由が本質的でない論文 2編
 - 「2点」が1つあるものの、同類の他の2編(16点, 15点)とまとめることにより質が向上する論文 1編

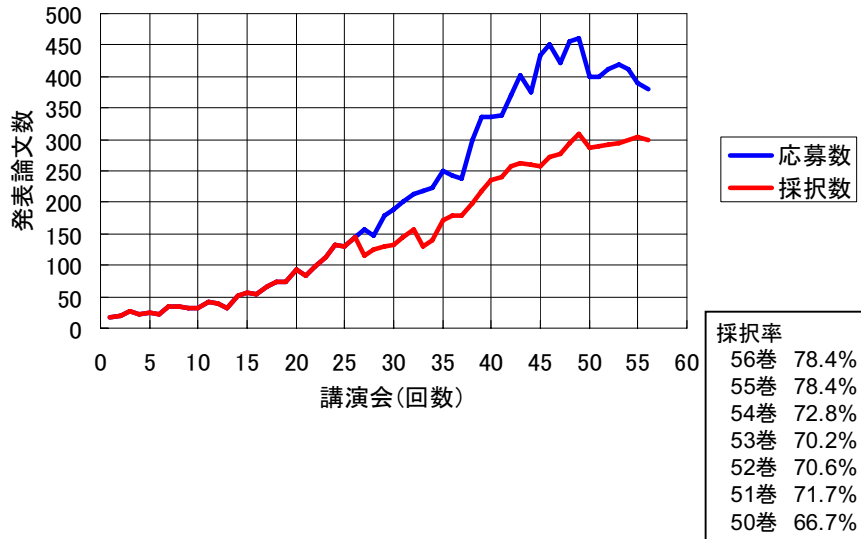
海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告⑤



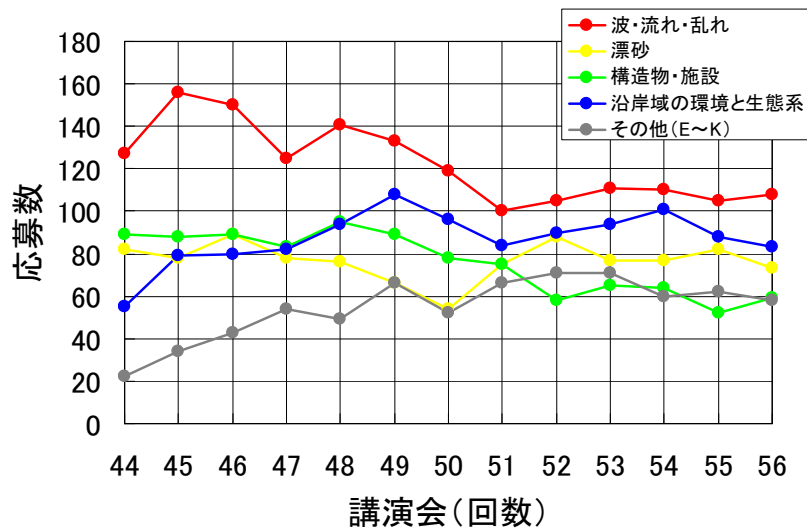
海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告⑥



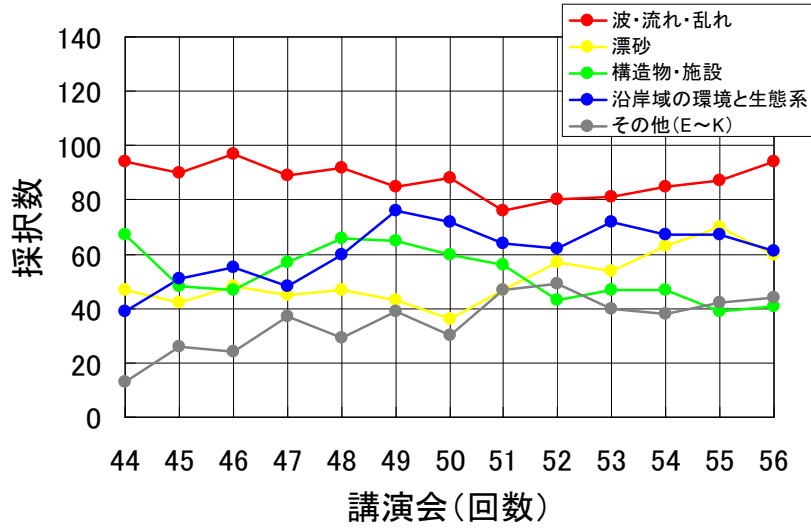
海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告⑦



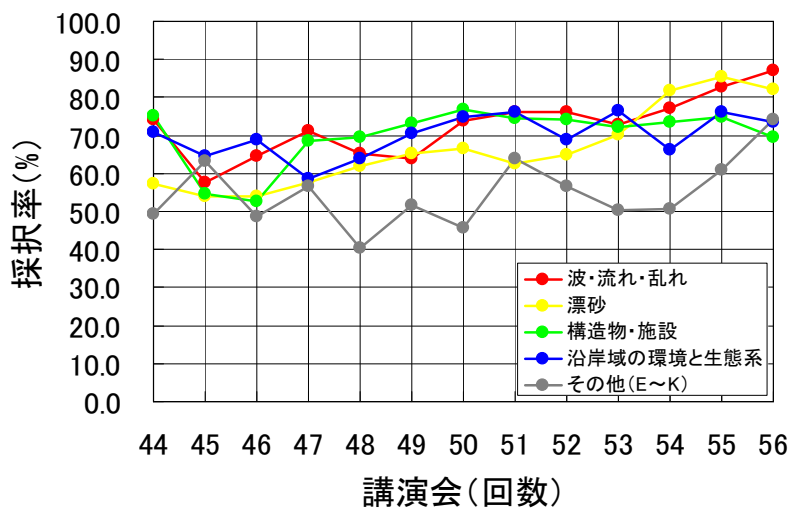
海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告⑧



海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告⑨



海岸工学論文集第56巻第1段審査結果報告⑨



海岸工学論文集第56巻第2段審査①

今後のスケジュール

- 5/20 第2段審査論文提出締切
 5/22 論文集編集小委員会, 第2段査読依頼
 6/08 査読報告締切
 6/15 査読報告総括締切(主査)
 6/15 論文集編集小委員会・小委員長が査読結果を確認
 6/18 第2段査読結果の一斉通知
 A: 最終原稿を郵送提出
 B: 修正原稿をweb提出, 主査が確認後, 最終原稿を郵送提出
 C: 修正原稿をweb提出, 主査が再査読の要の有無を確認(判定後AかD)
 最終原稿を郵送提出
 D: 論文集編集小委員会・委員長等が確認のうえ返却

査読者の割り当て

- 幹事会から主査, 論文集編集小委員会から副査1, その他から副査2
 論文ごとに査読者を(ほぼ)固定する弊害, メリット
- ・論文賞の評点のバイアス
 - ・第1段審査論文概要と比較しながらの査読
 - ・査読者割り当てが容易

海岸工学論文集第56巻第2段審査②

第2段審査後の原稿提出について

- (1) 提出期日
 平成21年6月30日 : A判定論文提出(学会へ郵送)
 平成21年6月30日 17:00 : B, C判定論文の修正原稿提出(web)
- (2) 提出物および提出方法
- a) 第2段審査時
 pdfファイル → 海岸工学委員会HPより電子投稿(修正報告書)
- b) 第2段審査後(A判定論文)
- ・pdfファイル (整理番号.pdf)
 - ・テキストファイル(整理番号.txt)
 - ・図・表・写真などの電子ファイル
 - 図 (整理番号-fig-図番号.拡張子)
 - 表 (整理番号-tbl-表番号.拡張子)
 - 写真(整理番号-pht-表番号.拡張子)
 - ・原稿提出明細書(M-整理番号.txt) ← BIB情報

BIBファイル(書誌事項表示情報) 作成例

電子が発行された年を西暦で記入

国名に記入されません、記入不要

国名が新式で電子登録された場合のみ記入 (JGA-ID-C)の場合は記入不要

国名が論文で記述された場合のみ記入

所属番号に対応させる

所属番号に対応させる

引用文献
 ①②③④⑤ 一 単角入力のものも英語略称で表示
 ⑥⑦⑧⑨⑩ 一 日本語略称で表示

海岸工学論文集第56巻第2段審査③

原稿執筆要項

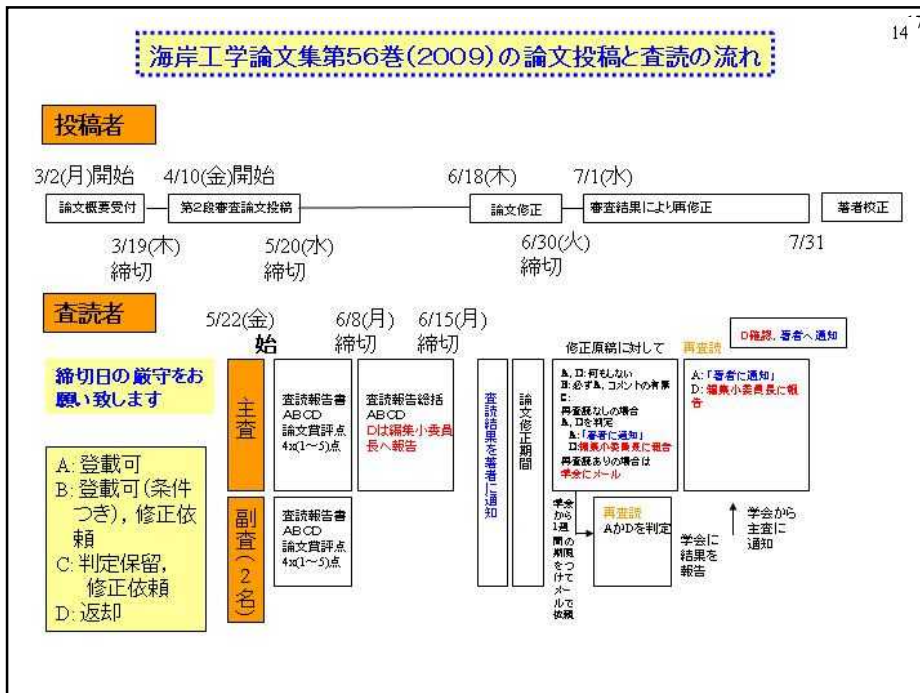
- カラー原稿は原則不可.

[認める場合]

- どうしても持っている図面が白黒にできない場合:
- ただし、論文集に掲載される図・表・写真は白黒であるので、色によっては意図どおり印刷されないことがあることを周知徹底.
- 事前にモノクロプリンターで出力、あるいは白黒コピーを取るなどして、鮮明度の確認が必要.
- カラー図面等を最終原稿として提出された場合は、著者校正において鮮明度の確認が必要.
- カラー画像をグレース画像に変換することができるソフトがある.

海岸工学論文集第56巻(2009)の論文投稿と査読の流れ

147



海岸工学委員会資料(青森)18

来年度の編集・出版形態

- (1) 二段階査読を維持, 3月アプスト受付-10月出版
- (2) 二段階ともに電子査読化, 主査制の導入
 (主査=幹事, 副査=編小委非幹事+第一段査読者)
- (3) 査読小委を廃止し編集小委に一本化, 最終判断は幹事会の責任
- (4) 校正は著者校正1回のみ
- (5) 電子ジャーナル実現まで現在の品質での出版(カラー不可)を維持
- (6) 編集小委内に, 電子査読WGと出版形態WGを設置
 後藤, 武若, 森 間瀬, 重松, 小林, 佐々木, 八木
- (7) 海岸工学論文賞(3編程度)を創設, 受賞論文はCEJに推薦
- (8) 技術委託費約50万円/年以下を想定
 (株)ジュオン

→ 11月の講演会(委員会承認後)に概要をアナウンス

J-STAGE 有効活用法

19

- 早期公開
- アクセス統計サービス
- JSTリンクセンター
- 電子付録
- Graphical Abstract
- 学会ウェブサイトとの連携
- その他の機能
-
-

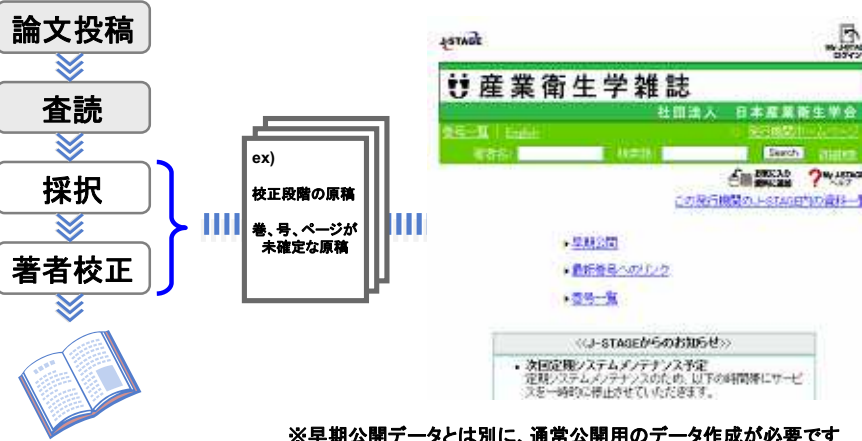
20

早期公開

早期公開とは

21

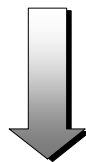
掲載可と判定された論文を、雑誌掲載に先立って
J-STAGEで速やかに公開できます



早期公開の目的

22

現状は研究者の論文が採択された後
冊子発行まで時間がかかる



電子ジャーナルのメリットを活かして
より早い論文の公開を可能にしま



早期公開 画面イメージ

23



アクセス統計 サービス

24

アクセス統計サービスとは

ジャーナル毎に1ヶ月単位のアクセス数を
ダウンロードできます

集計されるデータ例

- ・サマリ別（総アクセス数、総登録数など）
- ・記事別
- ・国別
- ・ドメイン別

アクセス統計サービスの活用方法

- アクセス統計はTAB区切りのテキストファイルで
ダウンロードできます
→Excelなどの表計算ソフトを利用して解析可能

お気に入り記事への登録
被引用数 ...etc

アクセス数

	A	B	C	D
1	J-STAGEアクセス統計 サマリレポート			
2	資料名称	Science Technology Information Socie		
3	集計対象開始日	2006/10/1		
4	集計対象終了日	2006/10/31		
5	作成日	2006/11/4		
6				
7	●資料基本情報			
8	記事数	3155		
9	資料アラート登録数	101		
10	お気に入り資料登録数	73		
11	お気に入り記事登録数	64		
12	総被引用数	365		
13	当該資料よりリンク	359		
14	J-STAGE他資料よりリンク	19		
15	J-STAGE以外からのリンク	7		
16				
17				
18	●アクセス数(国別内訳)			
19	画面種別	合計	英語画面	日本語画面
20	資料TOP	2305	314	1991
21	投稿規程	120	0	120
22	巻号一覧	882	135	757
23	目次	13504	6364	7140
24	書籍事項	40666	21485	19181
25	全文PDF	11541	-	-

活用例① (論文別ダウンロードランキング)

27

学会HP

ランキング画面

活用例② (被引用ランキング)

28

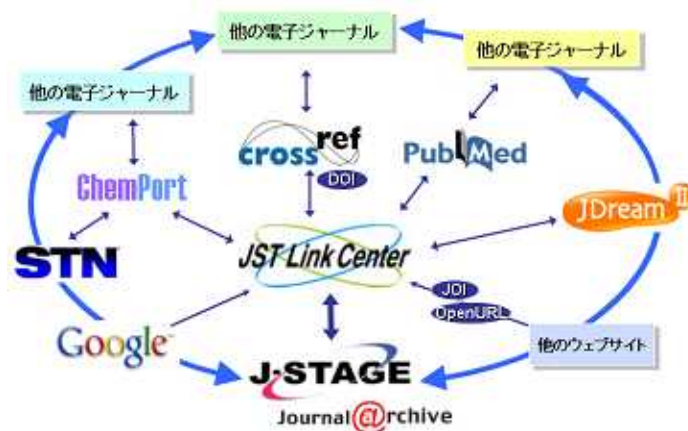
学会HP

ランキング画面

JSTリンクセンター

J-STAGE リンクシステム

国内外の電子ジャーナル情報サイトとの引用・被引用情報リンクを生成することで、論文の閲覧性を向上させ、ジャーナルの価値を高めます



リンクセンター アクセス状況

31

J-STAGE公開ジャーナル
書誌事項画面へのアクセス状況

リンク経由 … **80.3%**

それ以外 … **19.7%**

(平成20年4月～10月 J-STAGEアクセス数)

32

Google™
Scholar BETA

[Scholar検索オプション](#)
[Scholar設定](#)
[Scholarヘルプ](#)

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

巨人の肩の上に立つ

[Google ホーム](#) - [Google について](#) - [Google Scholar について](#)

©2008 Google



電子ジャーナルへのアクセス

検索

[Scholar 検索オプション](#)

[Scholar 設定](#)

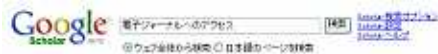
[Scholar ヘルプ](#)

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

巨人の肩の上に立つ

[Google ホーム](#) - [Google について](#) - [Google Scholar について](#)

©2008 Google



電子ジャーナルへのアクセス

検索

[Scholar 検索オプション](#)

[Scholar 設定](#)

[Scholar ヘルプ](#)

ウェブ全体から検索 日本語のページを検索

Scholar すべての記事 - 最近の記事

電子ジャーナルへのアクセス 01

sci 電子ジャーナルへのアクセス ルート 愛知医科大学での調査

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

国家電子ジャーナルの著作権とアクセス JSTAGEジャーナルの現状に見る課題と可能性

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

194冊目, 194冊目, 電子ジャーナル, 2008

Journal of Information Processing and Management

巻号一覧 目次一覧 English 発行情報ホーム

登録名: 検索語: 検索

HOME 巻号一覧 目次一覧 書誌事項

ONLINE ISSN: 1347-1597
PRINT ISSN: 0021-7290

情報管理
Vol. 50 (2007), No. 1 a20-01

[PDF \(117KB\)](#) [引用され](#)

J-STAGE登録電子ジャーナルへのアクセス傾向の分析

和田 光俊¹⁾, 時実 象一²⁾, 田口 美子³⁾

- 1) 国立行政法人科学技術情報機構 (NII) 文庫情報部
- 2) 東京大学工学部
- 3) 株式会社リクス

【要約】 2007年7月現在、科学技術情報提供・流通給付システム (J-STAGE) は、日本の学術界の発行する学術論文等を公開するための電子ジャーナルサイトであり、2007年1月現在 (2006年) の電子ジャーナルが公開されている。2006年1月現在時点で登録されたジャーナル 288誌、約11万件の論文に基づいて、アクセス傾向の分析を行った。目次等からアクセスされるが、外部サイトからのリンク経由でアクセスされるものもアクセス経路の多岐は、ジャーナルの学術分野や論文の重要性によって異なることがわかった。また、全文提供の有無によるアクセスへの影響も学術分野によって異なることがわかった。

【キーワード】 電子ジャーナル、J-STAGE、学術ジャーナル、リンク、アクセス、アクセス経路、学術分野

[PDF \(117KB\)](#) [引用され](#)

書誌ダウンロード [JSTAGE]

STN on the web

- About
- What's New?
- Customer Support
 - Get Structure Plugin
 - Get Sequence Plug-in
 - Standard Login
 - Secure Session
 - STN Links
 - Feedback

STN on the web

New STN Viewer Assistant Released July 27, 2008
New STN AnaVist Assistant Released June 29, 2008

Login ID:
Password:
Transcript: OFF
 ON [default name]
 Japanese Language Features

Power of STN — Convenience of the Web!
STN's complete functionality for searching an unparalleled collection of essential science and technology databases.

[Operating System and Browser Support](#)

[First Time User](#) [What's New!](#)

The screenshot shows the STN on the web interface. On the left is a dark sidebar with navigation options: Home, Help, News, Search Accounts, Results Account, STN Answer Assistant, STN Answer Assistant, Transmittal Assistant, STN Download Link, Login Mail, Logout, Feedback, and Send Bank. The main content area is titled 'STN on the web' and contains a table of updates with columns for '項目' (Item), '日付' (Date), and 'ヘッドライン' (Headline). The updates list various file releases and system changes from 2006 to 2008. Below the table, there are sections for 'New' (new items), 'STN' (STN information), and 'STN Answer Assistant' (STN Answer Assistant information). At the bottom, there is a 'Transcript' button and a 'STN Command List' link.

The screenshot shows the ChemPort CONNECTION website. The header includes the ChemPort CONNECTION logo and navigation links for 'ログオフ' (Logout), 'ChemPort について' (About ChemPort), and 'ヘルプ' (Help). The main content area features the text 'Best donor molecules and their charge-transfer salts with magnetic FeIII and CuII ions. Chemistry Letters (2008), 37(9), 896-901 CODEN: CMLTAG, ISSN: 0366-7022, English'. Below this, there are sections for '書誌情報をメールで送る' (Send bibliographic information by email) and '全文を表示したい場合は、次のオプションをご利用ください' (If you want to view the full text, please use the following options). The 'Web 上の原稿サービス' (Web-based manuscript services) section lists options for HTML, PDF, and J-STAGE. The '有料の原稿サービス' (Paid manuscript services) section lists '原稿複写注文' (Manuscript reproduction order).



電子付録


冊子体では掲載できない
電子コンテンツを公開できる機能です

電子付録の例

- ・動画
- ・音声
- ・高精細写真


電子付録は、1論文に対して5ファイルまで
ファイル容量は、合計容量として10MB以内を推奨しています

< 書誌事項画面 >



PDF [3847K] 引文献 **電子付録**

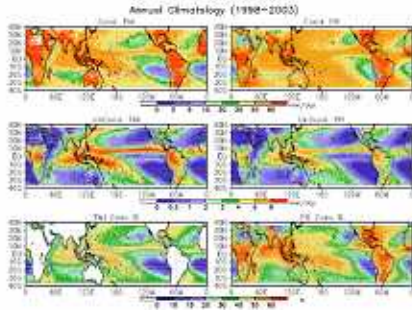
< 電子付録一覧画面 >



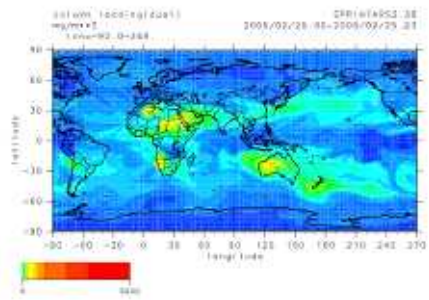
電子付録	ファイル種別	サイズ	リンク
Supplementary Material 1 Liberation on Okinawa Japan	文章 (pdf)	24 KB	
Supplementary Material 2 Animation of smoke from Lake Kizuka	画像 (gif)	104 KB	
Supplementary Material 3 Animation of smoke from Lake Suway	画像 (gif)	170 KB	
Supplementary Material 4 Editorial Comment	文章 (pdf)	10 KB	

電子付録のタイトル、ファイル種別、サイズを表示

<PICTURE>



<MOVIE>



Graphical Abstract

Graphical Abstractとは

抄録画面に画像を表示できる機能です

各論文の書誌事項画面に、画像と説明文
(キャプション)を掲載できます

1つの論文に、1つのGraphical Abstractを掲載

Graphical Abstract イメージ

通常抄録画面

e-Journal of Soft Materials
Vol. 3, 2005

Non-isoallothiolic Aβ by Reactive Interfacial of Nylon with Poly(ethylene-co-stryrene-methacrylate)
Osaka Saito, Yusuke Kato, Yusuke Kato, Yusuke Kato, Yusuke Kato, Yusuke Kato
D. Research Laboratory, Chemical Research Laboratory, Toyota Industries, Inc.
D. Department of Polymer Science & Engineering, Osaka University

Received August 10, 2005
Revised December 1, 2005

Abstract
[Illegible text]

Keywords
Nylon, Aβ, Poly(ethylene-co-stryrene-methacrylate), Non-isoallothiolic, Model, Full-cell

Graphical Abstract

e-Journal of Soft Materials
Vol. 3, 2005

Finite Element Analysis of Hyperelastic Materials Using SPH Method
Yusuke Kato, Yusuke Kato, Yusuke Kato, Yusuke Kato, Yusuke Kato
D. Department of Materials and Environmental Chemistry, Osaka University
D. Department of Materials and Environmental Chemistry, Osaka University

Received August 10, 2005
Revised December 1, 2005

Abstract
[Illegible text]

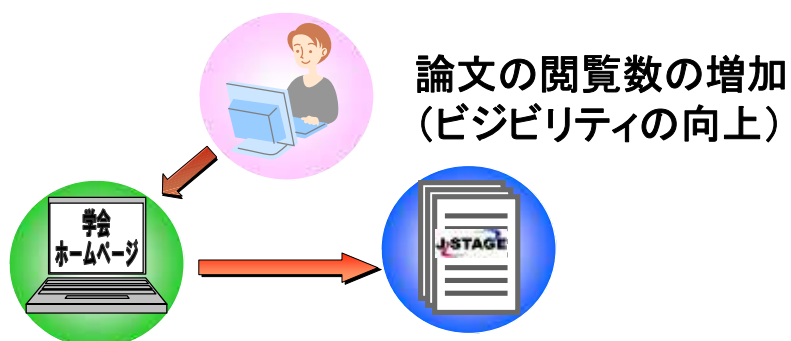
σ_{xx} distribution at 40% compression in SPH

Keywords
Finite element, SPH, Large deformation, Hyperelastic, Material, Updated Lagrangian

学会ウェブサイト との連携

学会ウェブサイトとの連携とは

学会様ホームページから
J-STAGEの記事に直接リンク設定できます



学会HPに論文が掲載されているように見せる事が可能です

リンク設定方法

J-STAGE画面

doi:10.2116/analsci.24.1231
 JOI JST/JSTAGE/analsci/24.1231

学会HP

学会HPにURLを設定

JOIを使用したURL
 http://joi.jlc.jst.go.jp/固定 JST/JSTAGE/analsci/24.1231

論文ページへのリンクURL

リンク設定例

学会HP

学会HP

J-STAGE画面

その他の機能

その他の機能

-
- 全文HTML公開機能
 - 全文PDFに加えてHTML形式で全文を公開
- 購読者認証
 - 認証機能で公開範囲を制限
 - パスワード認証、IPアドレス認証が利用可能
 - 号単位、論文単位にアクセス制限設定可能
 - 認証情報は学協会にて管理
- Pay per View
 - 論文一部売り機能

(茨城大学 横木裕宗)

- 第56回海岸工学講演会
開催時期:2009年11月18日(水)~20日(金)
会場:茨城県立県民文化センター
(小ホール(460), 集会室(120, 150, 100, 60)の5会場
+集会室(10, 10, 24, 10); 8:00~22:00予約)

- 見学会(案) 11月17日(火) 午後
A. 南部ルート(河川課) (約105km, 約4時間)
とちぎ自然の家, 神向寺海岸

- B. 北部ルート(港湾課) (約79km, 約3時間)
河原子海岸, 常陸那珂港, 阿字ヶ浦海岸

- 前日シンポジウム 11月17日(火) 18:00~
・津波小委員会
・温暖化適応策小委員会

■懇親会

- 日時: 11月19日(木) 18:30~(←講演会プログラム確定後に確定)
- 場所: 三の丸ホテル(水戸駅北口 目の前)

■今後の予定

- ・会場の詳細(使用機材, 借用機材), 予算
- ・前日シンポジウムのプログラム詳細
- ・後援の依頼
- ・懇親会あいさつの検討・依頼
- ・宿泊(交通手段)の案内



(茨城県立県民文化センター, 正面)

■海岸工学委員会からの要望など

- ・委員会, 小委員会用の部屋
- ・その他

(京都大学 後藤仁志)

■概要

- 講演会:2010年11月10日(水)~12日(金)
- 会場:京都テルサ(JR京都駅(八条口西口)より南へ徒歩約10分)
- 懇親会会場:京都駅周辺のホテル
- 見学会:2010年11月9日(火) (前日見学会として大阪開催)

■第57回海岸工学講演会実行委員会

- 委員長: 出口一郎(大阪大学)
- 委員長補佐: 間瀬 肇(京都大学防災研究所), 後藤仁志(京都大学)
- 委員: 重松孝昌(大阪市立大学), 荒木進歩(大阪大学),
水谷夏樹(大阪産業大学), 森 信人(京都大学防災研究所),
原田英治(京都大学) (増員予定)
- 講演会の主担当: 京大・間瀬研究室, 後藤研究室
- 見学会の主担当: 阪大・出口研究室(見学先との折衝関連)

◎旅行社を通じての宿泊のお世話は致しません。各自お好みの宿をご予約下さい。

Report
COASTAL ENGINEERING JOURNAL
Volume 50 • No. 3 • September 2008
CONTENTS

Longshore Migration of Shoreline Mega-cusps Observed with X-band Radar.....	247
<i>E M. Galal and S Takewaka</i>	
Modeling of Mud Accumulation and Bed Characteristics in Tokyo Bay.....	277
<i>T Rasmeemasmuang and J Sasaki</i>	
Parameterization of Wave Attenuation in Muddy Beds and Implication on Coastal Structures.....	309
<i>R. Rajesh Kumar, A Raturi, B. Prasad Kumar, A Bhar, D.Bala Subrahmanyam and F Jose</i>	
Time-varying Tsunami Ability of Coastal Forests Based on Forest Growth Models.....	325
<i>T Asano</i>	
A Turbulent and Suspended Sediment Transport Model for Plunging Breakers.....	349
<i>B Ontowirjo and A Mano</i>	

Volume 50 • No. 4 • December 2008
CONTENTS

A Numerical Model on the Interaction Between Nearshore Nonlinear Waves and Strong Currents.....	369
<i>Y Tian and S Sato</i>	
Wave Setup and Longshore Currents Induced by Directional Spectral Waves: Prediction Formulas Based on Numerical Computation Results.....	397
<i>Y Goda</i>	
Investigating the Length of Scale Model Tests to Determine Mean Wave Overtopping Discharges.....	441
<i>M T Reis, M G Neves and T Hedges</i>	
Response Characteristics of a Discus Shaped Data Buoy in Nonlinear Waves.....	463
<i>R Balaji, S.A. Sannasiraj, and V Sundar</i>	
Author Index.....	491

Volume 51 • No. 1 • March 2009
CONTENTS

- A Field Report on the Impact of the 2004 South Asian Tsunami Along the Southeast Coast of India1
Y-S Cho, C Lakshumanan, B H Choi, S O Lee and K-N Hwang
- A Numerical Wave Tank Using Direct-forcing Immersed Boundary Method and Its Application to Wave Force on a Horizontal cylinder27
K-H Lee and N Mizutani
- Methodology for the Simulation of the Construction of a Breakwater Taking Into Account Climate and Construction Accident Risks.....49
M Esteban, H Takagi and T Shibayama
- Technical Note
- Use of Mathcad as a calculation tool for water waves over a stratified muddy bed.....69
C-O Ng and H-S Chiu

2006年: 国内6海外24 (Australia 1, China 4, India 2, Iran 2, Italy 2, Korea 3, Kuwait 1, Portugal 1, South Africa 1, Taiwan 2, Thailand 2, UAE 1, USA 1, Vietnam 1)

2007年: 国内20海外25 (Australia 1, Bangladesh 1, China 1, India 5, Indonesia 1, Iran 1, Korea 5, Netherlands 1, Poland 1, Spain 1, Taiwan 1, Thailand 1, Turkey 3, USA 2)

2008年: 国内12海外29 (Canada 1, China 1, China(Hong Kong) 1, Greece 1, India 3, Indonesia 1, Iran 4, Korea 2, Malaysia 1, Netherlands 1, Poland 1, Taiwan 1, Thailand 1, Turkey 4, USA 6)

2009年(4月9日現在): 国内2 海外16

購読状況(2007年9月末日現在) Total 141

日本 50, USA 21, Netherlands 17, UK 9, China 7, Taiwan 5, Italy 5, Australia 4, France 3, India 3, Korea 3, Spain 3, Canada 2, Denmark 1, Germany 1, Iran 1, Malaysia 1, Norway 1, Poland 1, Portugal 1, Singapore 1, Thailand 1)

テクニカルノート

Technical note : Technical notes present original and practically useful information, or concisely presented research results. Maximum page is 10pages in final format.

編集方法の変更

Switching CEJ Review to Editorial Manager
Dr. Mori

1. メンバー

武若 聡 (筑波大学), 森 信人 (京都大学)
 荒木進歩 (大阪大学), 沖和哉 (京都大学)
 加藤 茂 (豊橋技術科学大学), 川崎浩司 (名古屋大学)
 木原直人 (電力中央研究所), 山田浩次 (国土技術政策総合研究所)

2. 報告 (2008年後半~2009年4月)

- A. ウェブのメンテナンス
- B. 海岸工学データベース
 - 1. サーバの変更 (岐阜大学 → coastal.jp 内)
 - 2. 第55巻データの追加 (2009.03.31)
 - 3. 土木学会図書館のオンラインデータの追加
- C. 写真ライブラリ (試行中)
 - 1. 写真その他のデータを置く場所の確保

代表研究者名: 原田賢治(人と防災未来センター,主任研究員,32)(参画委員数:合計 13名)

(所属機関, 役職, 年齢を併記のこと)

研究課題名: 津波防災教育体系の確立

研究の体制:

(所属機関, 役職, 年齢を併記のこと)

今村文彦 (東北大学,教授,46)	岡安章夫 (東京海洋大学,教授,46)
富田孝史 (港湾空港技術研究所,上席研究員,42)	藤間功司 (防衛大学校,教授,47)
原田賢治 (人と防災未来センター,主任研究員,32)	越村俊一 (東北大学,准教授,35)
諏訪清二 (兵庫県立舞子高校,教諭,47)	船木伸江 (神戸学院大学,講師,31)
安倍祥 (社会安全研究所,研究員,28)	後野正雄 (大阪工業大学,教授,51)
中野晋 (徳島大学,准教授,52)	山本吉道 (東海大学,教授,51)
阿部郁男 (東北大学工学研究科,共同研究員,40)	

必要経費:合計 1,000 千円

内訳

人件費 :	0千円(内容)	→80万円
旅費交通費:	600千円(内容:ワークショップ・打ち合わせ交通費他)	
消耗品費 :	150千円(内容:ワークショップ関係文具他)	
印刷製本費:	200千円(内容:津波防災教育コンテンツ印刷費他)	
借料・損料:	50千円(内容:会議室料他)	

津波小委員会内に津波防災教育分科会を設置し, 重点研究課題「津波防災教育体系の確立」にむけて, その教育コンテンツについて検討を行った. 研究の成果物として, 津波防災教育についての一般向けの書籍出版を行う. すでに第1稿が集められ, 編集作業を進めているところである.

出版は11月の予定, 11月の海岸工学講演会の前日シンポジウムで報告を行う(出版形態は新書サイズ, 150ページ程度, 初版1000部, 価格1500円を予定)

1. 活動状況報告

(1) 報告書の取り纏め作業

タイトル:数値波動水槽 -砕波帯の計算力学と海岸構造物の耐波設計の革新を目指して-

第I編 数値波動水槽のための自由表面流モデル (編集責任:後藤, 編集事務:五十里)

第II編 数値波動水槽と漂砂の計算力学 (編集責任:岡安, 編集事務:下園)

第III編 数値波動水槽と海岸構造物設計 (編集責任:平石, 編集事務:安田)

(2) 重点研究課題(研究助成)申請

数値波動水槽の体系化による海岸構造物の数値設計の推進

(参画委員数:合計10名, 海岸工学委員会から5名, 海洋開発委員会から5名) → 不採択
(採択率7/18)

2. 次期委員会(第2期)

小委員長:岡安章夫(東京海洋大)

課題1. 第1期報告書の最終取り纏め

- ・出版等の公開方法の検討

課題2. 数値波動水槽ベンチマークテスト

- ・ベンチマークWGの設置
- ・委員増員:ソースレベルでコード開発に携わる研究者を若干名募集予定

第45回水工学に関する夏期研修会 2009年4月10日 幹事会報告⁶²

期 日:2009年8月5日(水)~6日(木)

場 所:福島県日本大学工学部70号館

Bコーステーマ: 河川・海岸管理とそれを支える技術
プログラムおよび講演者(案)

現在調整中